miyoshi 町政 news

公募補助金とは?

東京電力に賠償金を請求しています〉

放射線対策費用等の負担を求め、求償書を提出しました。



賠償額

請求対象期間 41万8千250円

(図) 計画の基本方針と施策の柱

施策I

多様な主体 (協働パートナー

①協働理念の共有とまちづく

②多様な活動主体の効果的連

りの担い手発掘・育成

による連携と協働

携促進

11

圆政策秘書室秘書広報係 ~平成23年11月30日 平成24年1月日

miyoshi

町 政

news

られています。 額の合意が済み、

濃度測定費用については、

賀用については、賠償 、水道水の放射性物質

【基本方針】 多様な協働で まちの魅力と安心を デザイン

施策Ⅱ

多様なレベルでの協働展開

り政策協働と事業協働の双方

②協働の多様な取り組みに対

応できる推進体制の整備

3自治基本条例制定を見据え

た取組み

手続きが進め

すでに、

賠償額合意水道水の放射性物質

第2次協働のまちづくり推進計画策定

多様な協働でまちの魅力と安心をデザイン まちの構成員が一体となり、より多くの人が様々な場面でまちづくりに参加できるように 「第2次協働のまちづくり推進計画」を策定しました。

施策Ⅲ

施策を推進するしかけの

②段階に応じた住民参加

③まちづくり人材のマッチン

4)協働推進のための基盤整備

5)柔軟な協働推進体制の構築

整備・促進

1)情報共有

らの支出により対応したものでは、町税をはじめとした公金か 交付税などを差し引いた額を東射線対策に要した費用から特別 に要する費用は東京電力が負担 京電力株式会社に請求して するべきものと考え これらの放射線対策費用等 本来、 原子力発電所事故 た額を 当町が放

水道水(地下水)給食食材等に含まれる放射線物質の測定結果

検査項目等	採取日	測定結果	問い合わせ
水道水・地下水	7月12日	放射線物質不検出	上下水道課 例 252・253
保育所の給食食材 (調理済)	7月10日	放射線物質不検出	こども支援課 例 162 ~ 164
学校の給食食材	7月10日	放射線物質不検出	給食センター ☎ 258-3550

等を実施してきました。

東京電力に請求

保育所の給食の放射能含有検査

の測定、各公共施設における放

における継続的な空間放射線量

射線量低減対策及び小中学校や

子力発電所事故以降、

町内各所

東京電力福島第一原

放射線対策

放射線量の状況は、町ホームページで公開しています。

度までの4年間です。

計画の最終年度となる平成27年

計画期間は、第4次総合振興

新たな補助金団体を募集しま

団体もしくは特定非営利活動法

4 団体規約

営利を目的と-

しない任意

かつ、 ①地域の公益の増進に寄与し 応募資格

る団体は除く ③政治や宗教を主たる目的とす ている団体。 点が町内にあり、 ②5人以上で構成され、 (NPO法人) 町内で活動し 活動拠

行われており、 は ④特定非営利活動法人にあって 対象事業 いないこと。 法人税に関する諸手続きが 税金を滞納して

①補助金交付基準 (※1)に照

金等検討委員会) ➡町が採択 申請▶申請書類を審査(町補助 《申請から決定までの流れ》 年間補助金の交付を受けること 補助金制度を導入しました。 不採択を決定 ることもあります。 付帯条件により、 ができます。しかし、採択時の 採択された団体は、最長で3 昨年度より公募制による 3年未満にな

から1

00分の50まで。

場 所

午前9時~12時

8月26日(日)

運動公園グラウンド

ムペ

③補助金の範囲は、

費 (※2)総額の1

-00分の10 補助対象経 員会と共催する事業・活動は除

申込方法

ジを参照してください 【注意】※1・2は、町ホ

出してください。 次の①~⑥を政策秘書室まで提 【提出書類】

③収支予算・決算資料 2申請内容の概要書 から次年度までの3か年 ❶三芳町公募補助金申請書 (前年度 分)

(パンフレット、記録写真、総)活動内容を確認できる資料等 会資料等) はは

秘書室で配布しています。ジでダウンロードするか、 **固**政策秘書室政策推進係 申込期限 8月31日巤まで (期限厳守) 2の様式は町ホ \ \ \ 政策

②原則として同一 業・活動。 らして必要性が認められる事 の事業

る団体、もしくは町や町教育委で町から他の補助金を受けてい 目的

まちづくりを進めることを目的

助を行いながら、

より効果的に

町では、

公正透明で適切な補

行 事

防災訓練

士見市・ふじみ野市) 合同で開訓練が、二市一町 (三芳町・富第1回入間東部地区合同防災

MIYOSHI | 10

催します。

日時

いざという時のために、訓練に参加しよう!

、間東部地区合同防災訓練を開催

家族や地域の人を守るのは、皆さんです! 災害は、時間と場所は選びません。いろいろな事態を想像して備えることが大切です。

も行います。

ぜひ、

お誘い[°]

災の写真、

各種防災用品の展示

また、

消防車両や東日本大震

救援訓練が行われます

第33普通科連隊第1中隊による

負傷者救出訓練や、

陸上自衛隊

入間東部地区消防組合による

体験できます。 震車体験訓練』

があり、

誰でも

固自治安心課防犯防災係 せのうえご参加ください

主催 訓練のみ中止。 ※小雨決行。 ・総合体育館 三芳町、

災害の発生するおそれがあると きはすべて中止とします。 なお、

士見市消防団、 入間東部地区消防組合、 富士見市、 三芳町消防団、 雨天の場合は屋外 ふじみ野市消防 ふじみ野 台風など 東

訓練内容

【一般参加】 初期消火訓練、

体験訓練、AED・心肺蘇生訓 そのほかには、『煙中訓練』『起 ガスマイコンメー 簡易担架作り ター

訓練等

協働アクションプラン

(事業計画/協働推進本部+まちづくりネット)

固自治安心課自治協働係

ください 各公民館、 ※本計画は、 ホ 役場情報資料室 ムペ ージでご覧

推進計画協働のまちづくり

多くの住民の皆さんが、

まち 第

これまでの成果と課題を踏まえ 構成員とする第2次協働のまち て検討され、報告を受けま この計画は、 り推進計画策定会議にて 各公益団体等を

づく

施策の柱を3つとしました。

画」を策定し、基本方針のもと 2次協働のまちづくり推進計 づくりに参加できるように

MIYOSHI